

ガイドブック

とよ かわ かい ぐん こう しょう
豊川海軍工廠

み ちか せん そう し
— 身近にあった戦争を知るために —

ひ ばく ねん かい てい ばん
被爆80年改訂版



はじめに

いま、私たちは戦争のない国で、みんなが平和に暮らしています。しかし、昭和の初めには世界中で戦争があり、私たちの国も戦争を行い、多くの尊い命が犠牲となりました。私たちのまち豊川市も海軍の大きな工場（豊川海軍工廠）が激しい空襲を受け、身をもって戦争の悲惨さを体験しました。

豊川市は、戦争のない平和な世界の実現を願って、平成7年に「平和都市宣言」を行いました。私たちは、この平和都市宣言を大切にして、二度と戦争を起こさず、平和な社会が続くようにしていかなければなりません。そのためには、日本がかつて行っていた戦争や、現在も世界のどこかで行われている戦争について学び、平和な社会を築くために何が必要なのかを考えることがとても大切です。

このガイドブックでは、まず、かつて私たちのまちにあった豊川海軍工廠について、その成り立ちから戦争による被爆（爆弾による攻撃を受けること）までを取り扱い、次に、豊川市内に残る海軍工廠の面影（工廠の跡）や戦争で起きたことを語り継ぐための活動などについて紹介しています。

戦争が終わって長い時間がたち、日常生活の中で戦争について話をするのが少なくなっていると思います。このガイドブックには、海軍工廠の大空襲を描いた絵や、海軍工廠への攻撃を体験した方のお話をのせていますので、皆さんが戦争や平和について考えるきっかけになればと考えます。

このガイドブックを通して、皆さん一人ひとりが戦争や平和について、学んだり、考えたりすることで、平和な社会を築いていく担い手になってほしいと願っています。



工員養成所の教練

豊川海軍工廠

私たちが暮らす豊川市のほぼ真ん中あたりに、陸上自衛隊豊川駐屯地や日本車輛製造株式会社などの多くの工場が集まっている区域があります。市役所や陸上競技場、体育館や警察署などのすぐ北側の場所です。このあたりは、まわりとは違ってきれいに東西南北に土地が区切られて、道路がまっすぐに通っています。なぜでしょうか。それは、ここがかつて豊川海軍工廠と呼ばれた海軍の大きな工場があった場所からです——軍の工場のことを昔は工廠と言っていました。ですから、豊川海軍工廠とは「豊川にある海軍の工場」という意味です——。

豊川海軍工廠は、日本と中国が戦争（日中戦争）をしていた昭和14年（1939年）から戦争で使うための兵器の生産を始めました。豊川海軍工廠は、とても大きな工場でしたから、宝飯郡の豊川町・牛久保町・八幡村にまたがって建設されました。このため、工場がまたがる町や村の結びつきが強まりました。そして、昭和18年（1943年）6月1日に、すぐ隣の国府町も含めた宝飯郡の4町村（豊川町・牛久保町・八幡村・国府町）が合併して豊川市が誕生することになりました。工場の発展とともに人口も多くなりました。豊川市はまさに工場によって誕生し、成長していったのです。

しかし、太平洋戦争が終わる間近の昭和20年（1945年）8月7日に、工場はアメリカ軍のB29爆撃機などの空襲にさらされ、2,500人以上の人々が亡くなり、大きな被害を受けました。



工場の竣工式



昭和14年（1939年）12月15日の新聞記事

こう しょう かく し せつ 工 廠 の 各 施 設

とよかわかいぐんこうしょう しょうわ ねん ねん きじゅうぶ かこうぶ 豊川海軍工廠は、昭和14年（1939年）に機銃部と火工部でスタートしました。その後、こうがくぶ しき 光学部・指揮 へいきぶ きざいぶ あら 兵器部・器材部が新たにできて加わりました。これらの工場は、91の区画に仕切られた186ヘクタールの しきち なか せいぜん なら 敷地の中に整然と並んでいました。こうしょう まわ こうしょうじんじゃ びょういん とよかわかいぐんきょうさいびょういん 工廠の周りには工廠神社をはじめ、病院（豊川海軍共済病院）—— ベツ トの数が約1,000床もありました—— や、こうしょう はたら こういん そだ こういんようせいじょ 工廠で働く工員を育てるための工員養成所などがありました。 また、けいたんぞうこうじょう しらくもちょう やまて ひがしやじょう ちぎりちょう かいがんはっしや ば とよはし し い こ べちょう はな ばしよ 型鍛造工場（白雲町）、山手東射場（千両町）、海岸発射場（豊橋市伊古部町）など、離れた場所 にも工廠に関連する施設がありました。



豊川海軍工廠（光学部・指揮兵器部事務所付近）



豊川海軍共済病院

とよかわかいぐんこうしょうへいめんず ● 豊川海軍工廠平面図



工廠における兵器の生産

豊川海軍工廠は、機銃（機関銃のこと）の生産については日本最大の規模でした。東洋一の兵器工場と呼ばれたとも伝えられています。それほど大きな工場でした。

豊川海軍工廠のなかでも、機銃部という部署では、ゼロ戦などの航空機や艦船に取り付けるための機銃を生産していました。

また、火工部という部署では、こうした機銃の弾丸や弾薬包（薬莢に弾丸を取り付けた完成品）が作られていました。それらを戦場へ送り出すための箱詰め作業も行われていました。

光学部という部署では、艦船などで使う双眼鏡や距離を測る測距儀という道具などの製造が行われていましたし、指揮兵器部という部署では、高角砲や機銃の射撃装置などが作られていました。



完成した機銃の前で記念撮影



レンズ研磨作業



レンズ検査作業



弾丸防湿作業



双眼鏡



機銃の弾丸と薬莢



工廠で働いた人々

豊川海軍工廠では、最も多い時には6万人ちかくの人々が交代で働いていました。昭和20年（1945年）3月には、12～13歳の国民学校高等科児童までもが集められて働かされるようになりました。昭和20年8月ごろに工廠で働いていた人々は下の表のとおりです。職員や工員のほかに徴用工員（女子挺身隊を含む）や動員学徒のように強制的に集められた人々がいかに多かったかが分かります。

工廠での仕事は、「産業戦士」と言われるように厳しくつらいもので、寄宿舎住まいの徴用工員や動員学徒などは、日常生活のすべてにわたって、軍隊なみの規律正しい生活をしていました。

● 工廠で働いていた人々

職 員	数
● 廠長(中将)	1名
● 部長(少将又は大佐)	8名
● 主任(佐官級)	40名
● 係官(尉官級)	550名
● 係員	100名
工 員	数
● 工長(下士官)	約10,000名
● 工手	
● 職手	
● 一等工員	
● 二等工員	
徴 用 工 員	数
● 徴用工	約40,000名
● 女子挺身隊	
動 員 学 徒	数
● 国民学校高等科以上	約6,000名
合 計	数
	約56,700名

豊川海軍工廠に学徒動員されて 機銃部で働いていた 稲吉道子さんの制服

西浦町（現：蒲郡市）出身の稲吉道子さんは、昭和19年（1944年）10月に豊川海軍工廠へ学徒動員され、機銃部の工場で働いていました。稲吉さんの制服をよく見ると「第一女子学徒寮 機銃部（架）松操高女 B 型 稲吉道子」と名札が縫い付けられています。

当時、稲吉さんは、工廠の南側にあった共同宿舎（学徒寮）で集団生活をしていました。同じ職場の仲間と勤務時間を交代して、里帰りするためのわずかな時間をつくっていました。

昭和20年（1945年）8月7日の空襲のあった時間は、本来であれば稲吉さんの勤務時間ではありませんでした。けれども、稲吉さんはその日、里帰りして実家で家族とともに一夜を過ごすために、友だちと勤務時間を変更して早い時間帯に働いていました。そして、空襲の被害にあい、帰らぬ人となってしまいました。



桜ヶ丘
ミュージアム蔵

機銃部(架)
松操高女
B型
稲吉道子



事務作業



機械実習



雷管圧填作業



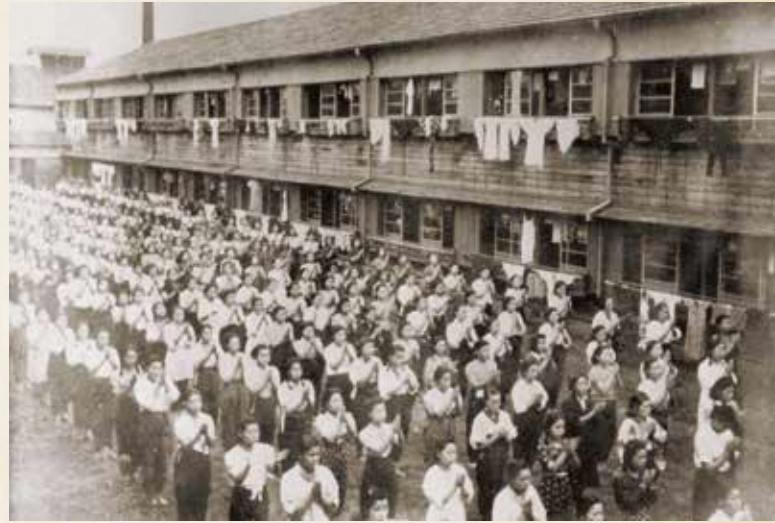
掃除



食事



工員募集ポスター



朝礼

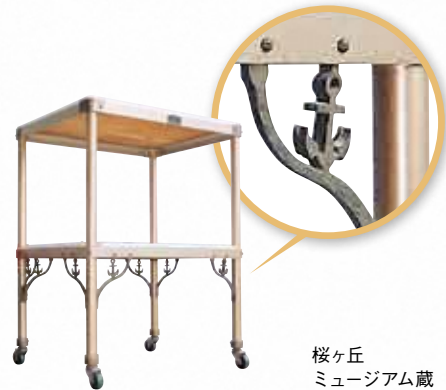
とよ かわ かい ぐん きやう さい びやう いん 豊川海軍共済病院のものと おも 思われるキャスター

素敵なインテリアとして今でも活躍しそうな
オシャレなキャスターです。平成 25 年（2013
年）の 5 月まで、豊川市民病院の医局で使われ
ていました。

このキャスターには、製造元・販売元を記し
た銘板が付いています。そこには「東京市日本
橋区」と書かれていますから、これが昭和 18
年 6 月以前に作られた製品だとわかります。ま
た、キャスターの脚には錨のかざりがデザイン
されています。錨は海軍をあらわすマークです。

ですから、このキャスターは、豊川海軍共済
病院から豊川市民病院に引き継がれた備品の一
つなのでしょう。

空襲のすさまじい爆撃をくぐりぬけ、戦後も
ずっと働き続けてきたこのキャスターの経歴を
知った後では、もうただの素敵なインテリアと
見ることはできませんね。



桜ヶ丘
ミュージアム蔵



だい くう しゅう ひ がい 大空襲による被害

アメリカ軍は、空襲の参考とするため、昭和 19 年（1944 年）に上空から豊川海軍工廠の写真撮影を行いました。そして、昭和 20 年（1945 年）8 月 7 日、B29 爆撃機 124 機と P51 戦闘機 97 機によって豊川海軍工廠を空襲したのです。午前 10 時 13 分からわずか 26 分の間に 3,256 発もの 500 ポンド爆弾（250 キロ爆弾とも言う）が落とされ、工廠は大きな被害を受けました。

豊川海軍工廠の空襲はすさまじいものでした。2,500 人以上の命が奪われ、その数倍の人々がけがをしました。死者の中には、国民学校の児童生徒や女子挺身隊も含まれ、家族や友人はとても悲しみました。この空襲によって、工廠の施設はほとんど破壊され、一面の焼け野原となってしまいました。このあと、豊川海軍工廠では兵器の生産が再開されることはなく、焼け跡の片付けもままならない 8 月 15 日に終戦を迎えました。



炎上する豊川海軍工廠（国立国会図書館蔵／原資料：米国国立公文書館）



被爆後の航空写真（一般財団法人日本地図センター蔵）
（昭和 21 年）



空襲による惨状



豊川海軍工廠被爆絵図／古川訓夫 画

あの日、私の体験①

石原 千代子さん

空襲時／15歳

豊橋高等女学校在籍（現在の豊橋東高校）



朝10時半頃に、爆弾が落ちました。警報もなく「あっ、今度は本当に空襲かな」と思って、満員の防空壕へ飛び込みました。

みんな「お母さん、お母さん、助けて」って抱き合っていました。土を掘って、屋根は板に土が乗せてある程度の防空壕でしたから、地響きの度に土がカーテンのように動きました。

爆撃された日から終戦までの1週間が本当に怖かったです。空襲後も連日、警戒警報と空襲警報のサイレンが鳴ると、今度は自分かなと思うからです。

語りべの方々の体験談を豊川市公式 YouTube チャンネルでご覧いただけます。

右の二次元バーコードを読み取るか、【豊川市 YouTube 体験談】などで検索してください。

この体験談は、リーフレット「あの日、私の体験」の内容を抜粋して掲載しています。



● 大空襲による被害



一九四五年八月七日—中学二年生が見たもの／竹尾節男 画



正門正面から南東方面を望む



豊川海軍工廠空襲目撃図／渡辺 毅 画



破壊された工場

10

あの日、私の体験②

あさ わか かつら
浅若 桂さん

くう しゅう じ 16 さい 豊橋中学校在籍 (現在の時習館高校)



ぼうくうごう ぼうくうごう ぼうくうごう
防空壕を3つか4つ回ったけど、どこに行っても「中学生は来るんじゃない、向こうへ行け」
と何度も追い出された。やっと入れた防空壕は40メートルぐらいの立派な防空壕で、垂木を
組んだトンネルでした。その防空壕に着くと「すぐ入れ」と言われ、3メートルぐらい深さのあ
る穴の中へはしごで降りました。その途端、250キログラム爆弾が落ちたのです。

あの日、私の体験③

い とう ひとし
伊藤 等さん

くう しゅう じ 14 さい 豊川海軍工廠工員養成所6期生



くう しゅう ひ がい う い たい しょ り ようせいこういん おこな
空襲の被害を受けた遺体の処理は養成工員が行いました。遺体から油やウジ虫が落ちて
体がべたべたになりました。夜になると夏草が油で燃えてリン（火の玉）が出て、ピンポ
ン玉からテニスボールくらいになってただよっていました。死者が「こんなところで死にたく
なかった」って言っとるみたいで、本当にかわいそうでした。

かた 語りべの方々の体験談を豊川市公式 YouTube チャンネルでご覧いただけます。

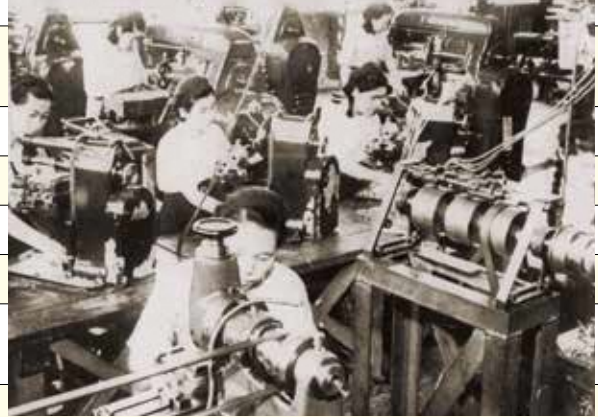
みぎ 右の二次元バーコードを読み取るか、【豊川市 YouTube 体験談】などで検索してください。

この体験談は、リーフレット「あの日、私の体験」の内容を抜粋して掲載しています。



とよかわかいぐんこうしょう
● 豊川海軍工廠のあゆみ

昭和 11年	に ほん かい ぐん とよかわかいぐんこうしょう けん せつ ほうてい 日本海軍が、豊川海軍工廠の建設を決定する。
12年 7月 7日	にっちゅうせん そう ぱい 日中戦争が始まる。
13年11月	とよかわかいぐんこうしょう けん せつ ぱい 豊川海軍工廠の建設が始まる。
14年12月15日	とよかわかいぐんこうしょう き じやう ぶ か こう ぶ せい さん ぱい き めん せい もん まえ とお げん ざい そうごう たいく かん や まうじやう かい だ りやう 豊川海軍工廠（機銃部・火工部）で生産が始まる。記念として、正門前の通り（現在の総合体育館と野球場の間）の両側にケヤキが植えられる。
15年 4月	とよかわかいぐんこうしょうこういんようせいじょ かいこう 豊川海軍工廠工員養成所が開校する。
15年12月23日	とよかわかいぐんきやうくみ かい びやういん 豊川海軍共済組合病院 (のちの豊川海軍共済病院) が完成する。
16年 春	こうしょう しやうへん う 工廠の周辺にサクラが植えられる。
16年12月 8日	たい へい いう せん そう ぱい 太平洋戦争が始まる。
16年12月15日	こうしょう あら こう かく ぶ 工廠に新たに光学部ができる。
17年 4月 6日	きやうさいびやういん かん ご ぶ せい じょ かい し じき おこな 共済病院看護婦養成所開所式が行われる。
17年 5月12日	いい だ せん とよかわ えき に し とよかわ えき ひきこみ せん 飯田線豊川駅から西豊川駅までの引込線が かい づつ 開通する。
18年 6月 1日	とよかわ いう しく ぼ ちやう や わた なら こう ちやう ひと 豊川町・牛久保町・八幡村・国府町が一つ とよかわ し たんじやう になり豊川市が誕生する。
18年 9月 1日	こうしょう あら し き へい き ぶ 工廠に新たに指揮兵器部ができる。
19年 2月19日	おお ぎ ばく だん お じん てき ひ がい 大木に爆弾が落とされたが、人的被害なし。
19年 4月15日	こうしょう あら き ざい ぶ 工廠に新たに器材部ができる。
19年11月23日	ぐん こうしょう ばく げき さんこう アメリカ軍が、工廠の爆撃の参考にするため、 じやうくう せい しん ざつ うえい 上空から写真撮影をする。
20年 1月27日	こうしょう ばら ひと せん せう 工廠で働く人の輸送のため、国府から市役所前 (現在の諏訪町駅) までの豊川市内線 (現在の名鉄豊川線) が開通する。
20年 2月15日	ひがし ぬた や あ そう だ ばく だん お り し ばう 東豊・麻生田に爆弾が落とされ、2人が死亡する。
20年 5月17日	な ご や くらうがえ ぐん き え じま ばく だん 名古屋空襲帰りのアメリカ軍機が、江島に爆弾を 落とす。
20年 5月19日	こうしょう ぱい ばく だん お やく にん し ばう 工廠に初めて爆弾が落とされ、約30人が死亡する。また、土筒・当古・雨谷にも爆弾が落とされ、7人が死亡する。
20年 6月26日	かな や こうじやう ばく だん お り し ばう 金屋にあった工場に爆弾が落とされ、1人が死亡する。
20年 7月15日	こうしょう せんとう き こうしやう う にん で 工廠がP51戦闘機の空襲を受け、けが人が出る。
20年 7月24日	こうしょうじやうくう こう ふく ます 工廠上空から降伏を勧めるビラがまかれる。
20年 7月30日	こうしょう せんとう き こうしやう う 工廠がP51戦闘機の空襲を受ける。
20年 8月 2日	こ う えき めいてつでんしゃ せんとう き こうしやう う し しゃ で 国府駅の名鉄電車がP38戦闘機の空襲を受け、死者が出る。
20年 8月 6日	ひろ し ま げん し ばく だん お 広島に原子爆弾が落とされる。
20年 8月 7日	こうしょう ばく げき き き せんとう き き こうしやう う にん いじやう し しゃ で おお ひ がい う 工廠がB29爆撃機124機、P51戦闘機97機による空襲を受け、2,500人以上の死者が出るなど大きな被害を受ける。
20年 8月 9日	なが さき げん し ばく だん お 長崎に原子爆弾が落とされる。
20年 8月15日	たい へい いう せん そう お 太平洋戦争が終わる。
20年10月 6日	とよかわかいぐんこうしょう かい さん しき おこな 豊川海軍工廠の解散式が行われる。



フライス盤作業



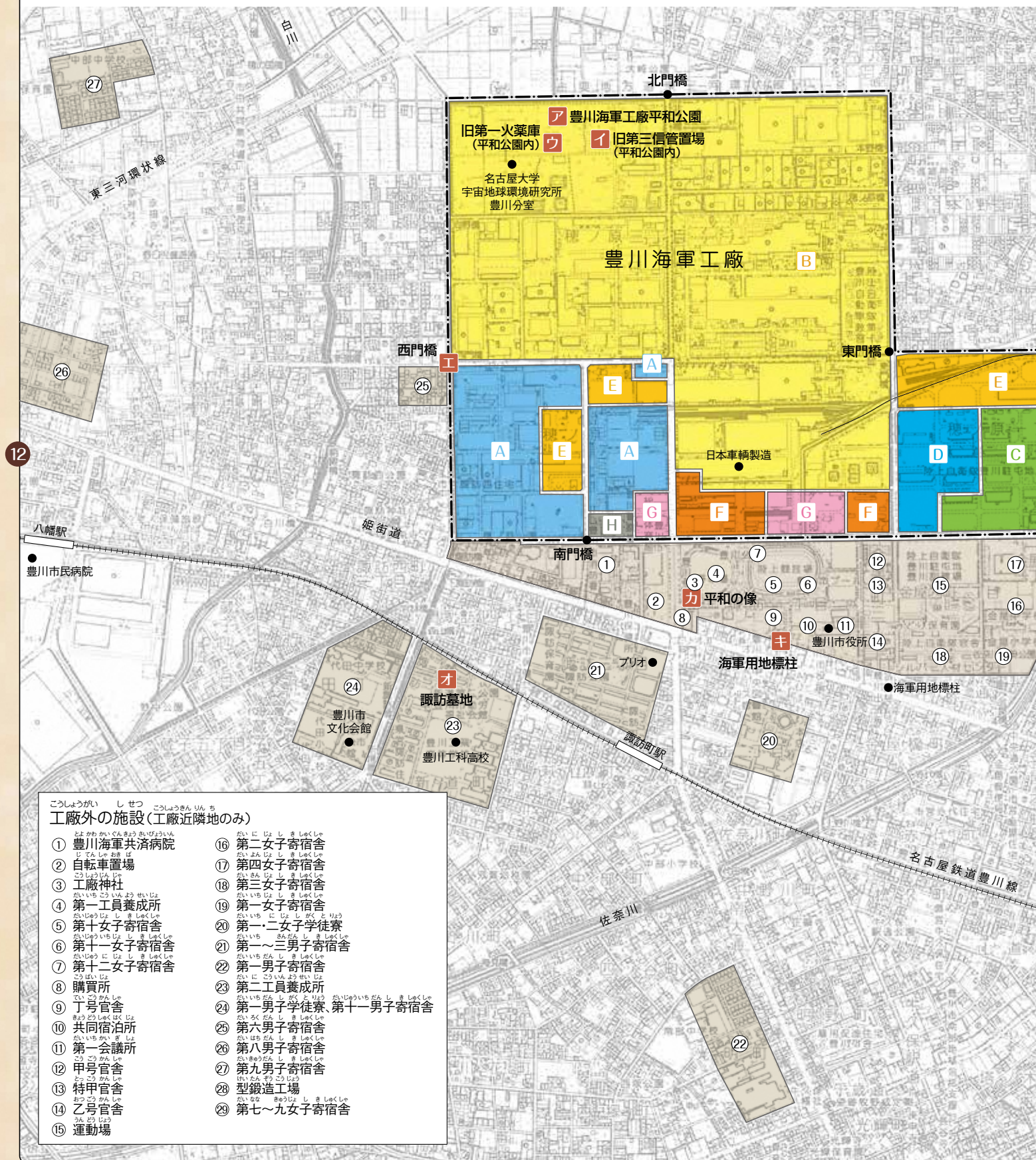
洗濯物干し

とよ かわ かい ぐん こうしょう おも かげ 豊川海軍工廠の面影

豊川海軍工廠の跡地やその周辺では、工廠の名残を今でも見つけることができます。

名古屋大学宇宙地球環境研究所のなかには、いくつか当時の建物が残されていて、兵器工場だった面影をとどめています（※名古屋大学宇宙地球環境研究所には許可なく入ることができません）。陸上自衛隊豊川駐屯地では、光学部の研磨工場が、今も現役の建物として使われています。工廠の敷地を区画していた堀には、今でも「西門橋」「北門橋」という橋がかかっているほか、「東門橋」や「西門橋」という交差点名も残っています。

工廠跡地の外側になりますが、豊川市役所の近くには、「海軍」と刻まれた石の標柱が何気ない風景の中にたたずんでいます。



こうしょうがい し せつ こうしょうきん りん ち 工廠外の施設(工廠近隣地のみ)

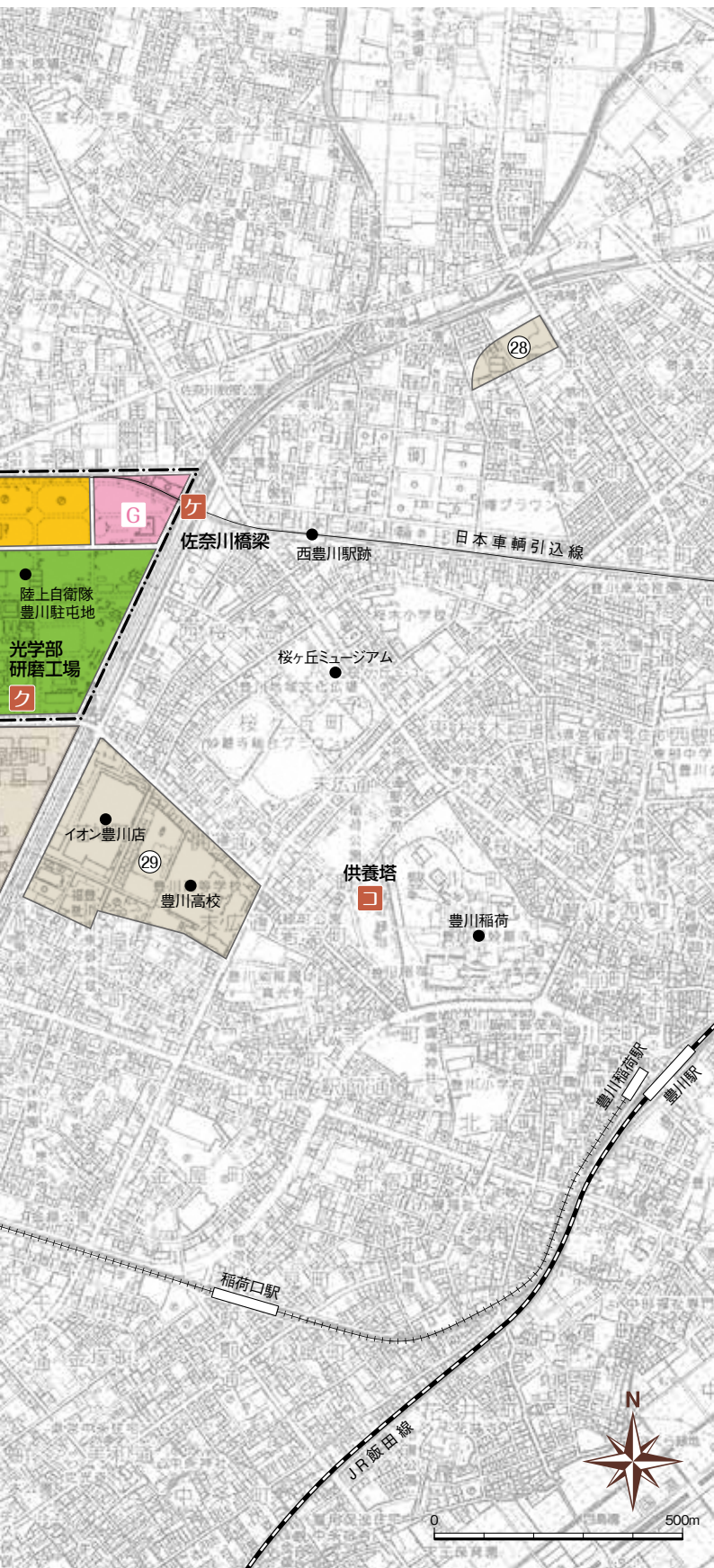
- | | |
|------------|---------------------|
| ① 豊川海軍共済病院 | ①⑥ 第二女子寄宿舎 |
| ② 自転車置場 | ①⑦ 第四女子寄宿舎 |
| ③ 工廠神社 | ①⑧ 第三女子寄宿舎 |
| ④ 第一工員養成所 | ①⑨ 第一女子寄宿舎 |
| ⑤ 第十女子寄宿舎 | ②⑩ 第一・二女子学徒寮 |
| ⑥ 第十一女子寄宿舎 | ②⑪ 第一～三男子寄宿舎 |
| ⑦ 第十二女子寄宿舎 | ②⑫ 第一男子寄宿舎 |
| ⑧ 購買所 | ②⑬ 第二工員養成所 |
| ⑨ 丁号官舎 | ②⑭ 第一男子学徒寮、第十一男子寄宿舎 |
| ⑩ 共同宿泊所 | ②⑮ 第六男子寄宿舎 |
| ⑪ 第一会議所 | ②⑯ 第八男子寄宿舎 |
| ⑫ 甲号官舎 | ②⑰ 第九男子寄宿舎 |
| ⑬ 特甲官舎 | ②⑱ 型鍛造工場 |
| ⑭ 乙号官舎 | ②⑲ 第七～九女子寄宿舎 |
| ⑮ 運動場 | |

こうしょうない しせつ
● 工場内の施設

とよかわ かいぐん こうしょう せいぶ とうこうぶ こうがくぶ しきへいぶ せいぶいぶ そうむぶ かいけいぶ いむぶ そしきぶ など
豊川海軍工廠は、機銃部・火工部・光学部・指揮兵器部・器材部・総務部・会計部・医务部の組織から成り立っていました。

- A 機銃部 ぜりせんなどに取り付けける機銃を作っていました。
- B 火工部 ききゅう だんがん づく 機銃の弾丸などを作っていました。
- C 光学部 そうがんまろ 双眼鏡のレンズなどを作っていました。
- D 指揮兵器部 せんかん つか しやげきそう づく 軍艦で使う射撃装置などを作っていました。

- E 器材部 こうしょうない つか こうぐ 工場で使う工具などを作っていました。
- F 総務部 こういん ぼしやう こうしょうぜんぱん かん おこな 工員の募集など工廠全般に関するを行っていました。
- G 会計部 かいけい きやうよ かん おこな 会計や給与などに関するを行っていました。
- H 医务部 じゅうぎやういん しん かつ しんたいけんさ おこな 従業員の診察や身体検査などを行っていました。
みなみ りんせつ かいぐんきやうびやういん ろう か 南に隣接する海軍共済病院とは廊下でつながっていました。



とよかわ かいぐん こうしょうへい わ こうえん
A 豊川海軍工廠平和公園



きやうだいさん しん かん おき ば
1 旧第三信管置場
(平和公園内)



きやうだい いち かやく こ
ウ 旧第一火薬庫
(平和公園内)



にし もん ばし
I 西門橋



すわ ぼち
オ 諏訪墓地



へい わ ぞう
カ 平和の像



かいぐん ち いし ひやうちゆう
十 海軍用地の石の標柱



こうがく けん けん ま こうじやう
ク 光学部研磨工場



さ な がわ きやうりやう
ケ 佐奈川橋梁



く とう とう
コ 供養塔

過去を学び、未来へ語り継ぐために

戦争が終わってから長い時間がたち、戦争を経験した人に会って直接話を聞くことが難しくなってきました。

二度と戦争を起こさず、平和な社会をつくっていくためには、過去に起きたことを学び、語り継いでいくこと（伝えていくこと）が大切です。

豊川市や豊川市平和都市推進協議会では、様々な形で、戦争で起きたことなどを未来に語り継ぐ活動を行っています。

● 豊川海軍工廠平和公園・平和交流館



豊川海軍工廠があった場所には、戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えていくために、豊川海軍工廠平和公園ができました。

園内には、工廠の建物や防空壕の跡などが残るほか、平和交流館では工廠の歴史が紹介されています。

公園には、毎年市内の全小学6年生が見学に訪れ、平和の大切さを学んでいます。

● 語り継ぎボランティア



戦争で起きた悲しい出来事を忘れないようにするためには、戦争によってどんなことが起きたのかを語り、伝えていく必要があります。

そのため豊川海軍工廠平和公園では、語り継ぎボランティアが園内ガイドや絵本の読み聞かせなどを行うことで、多くの人に平和の大切さを伝えています。

詳しくはこちら

園内ガイドについて

豊川市平和交流館

TEL ● 0533-95-3069



とよ かわ し へい わ と し すい しん きょう ぎ かい
● 豊川市平和都市推進協議会

とよ かわ し へい わ と し すい しん きょう ぎ かい へい わ と し せん げん う だん たい せん げん し
豊川市平和都市推進協議会は、平和都市宣言をきっかけに生まれた団体です。宣言を知って
とも へい わ かん げん こ おも じつ げん かつ とう
もらい、共に平和について考え、宣言に込められた思いを実現するために活動しています。

くわ
詳しくは
こちら



平和の図書寄贈・保育園での絵本の読み聞かせ



学習参考資料の発行



平和の像周辺の清掃活動



戦争体験を聴く会

へい わ き ねん しき てん
● 平和祈念式典



まい とし がつ にち せん ぞう な かた おも
毎年 8 月 7 日に、戦争で亡くなった方を思い、
せ かい へい わ ねが へい わ き ねん しき てん おごな
世界の平和を願って平和祈念式典を行っています。

ほか かつ とう
● その他の活動



がつ にち あ さくら が おか
8 月 7 日に合わせて桜ヶ丘ミュージアムでは
かい ぐん ころ しゅう てん ちゅう おう と しや かん かん けい ほん しやう かい
海軍工廠展、中央図書館では関係する本の紹介
おごな
を行っています。

ほか がつ にち あ し ない がつ ころ
この他にも 8 月 7 日に合わせて市内の学校などで、歴史を学び平和を願う様々な活動が行われています。

平和都市宣言

戦後 50 年を迎えた平成 7 年（1995 年）8 月 7 日に豊川市は、工場で起きたできごとや戦争の記憶を語り継ぎ、平和を愛する心を育てていこうという願いを込めて「平和都市宣言」を行いました。

平和都市宣言

昭和 20 年 8 月 7 日、私たちのまちでは、豊川海軍工廠の被爆によって、勤員学徒や女子挺身隊員を含む工員、職員ら 2,500 名以上の尊い命が奪われ、身をもって戦争の悲惨さを体験しました。そして、この被爆と前後して、私たちの国は、世界で最初の核被爆国となりました。

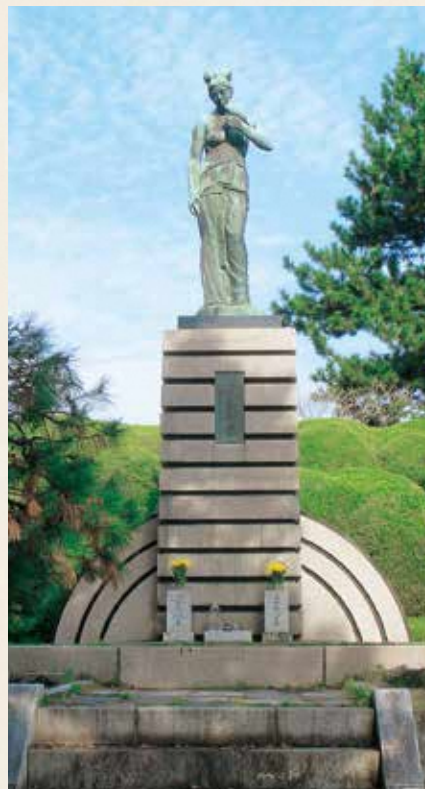
私たちの国だけでなく、歴史上かつてないほど多くの犠牲者を出したこうしたことが、なぜ起きたのか、ともに考え、子孫に語り伝えていかなければなりません。戦争の惨禍を防止し、恒久平和を実現することが、私たち市民の願いだからです。

しかし、現実には、世界各地で武力紛争や戦争が絶え間なく起こり、核戦争の危機は人類の生存に大きな脅威となっています。

私たち豊川市民は、人権を尊重しあい、平和を愛する心を育て、人類の絶滅につながる核兵器の廃絶を訴え、地球の平和と安全の確保を希求するため、ここに平和都市を宣言します。

平成 7 年 8 月 7 日

豊川市



平和の像

平和の像は、工場で働いていた人々から組織する八七会が、全国からお金を集めて建てたものです。

この像には、工場で亡くなった方への思いや平和への願いが込められており、豊川市の平和のシンボルの一つです。

ガイドブック 豊川海軍工廠

— 身近にあった戦争を知るために —
被爆 80 年改訂版

編集・発行 ● 豊川市平和都市推進協議会／豊川市諏訪 1 丁目 1 番地（豊川市役所内）／TEL ● (0533) 89-2123
監 修 ● 豊川市市民部文化振興課 豊川市教育委員会生涯学習課